※令和４年度以降入学生用

学校番号	315

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	第１学年	Vision Quest　English Logic and Expression Ⅰ　Standard Vision Quest 総合英語　3rd Edition、 Vision Quest 論理・表現Ⅰ Standard WORKBOOK Vision Quest 新高校英語入門 Grammar Station 高校英文法の標準トレーニング

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学習した知識・技能を深めるとともに、ディベートやディスカッション、ライティングなどのアウトプット型の言語活動を通して、伝えたいことを表現できる力を養います。
・上記アウトプット型の言語活動を強化するため、文法等をとおして発信能力を育成するとともに情報や考えなどを工夫しながら論理的に伝える能力も養います。
・２０人構成（少人数）授業で、個々の達成状況に合わせた指導を行います。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・教材の音声を聞き、内容をほぼ理解し、それについての発問を英語で聞きとることができる ・ネイティブ講師による英語での指示を聞き、課題を行うことができる ・英検準２級程度の英語が聞き取れる	・教材を読み、概要を捉え、情報や考えを理解し、聞き手に伝わるように音読することができる ・教材の内容を日本語で表すことができる ・英検準２級程度の長文を読むことができる	・教材の内容について英語での発問に対して英語で口頭で答えることができる ・ネイティブ講師やクラスメートに対して知りたいことを英語で質問できる	・与えられたテーマに沿って、情報を調べ、英語で発表する準備を個人単位、グループ単位でできる。 ・用意した原稿を覚え、クラスメートの前で大きな声で発表できる ・英検準２級程度の話題について自分の意見をまとめて表現することができる	・簡単な日本語を習得した文法を用いて英語で表現できる ・英検準２級程度のトピックについて、自分の意見を読み手が理解できるように書くことができる

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で正確に理解し、適切に伝えることができる。 聞いたり読んだりしたことを活用し、自分の意見や考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現できる。	他者を尊重し、周りに配慮しながら、外国語で読んだり聞いたりした内容を理解しようとしている。また、自分の意見や考え、気持などを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1 I want to introduce my new friend. Lesson 2 Do you want to join our show?	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: 様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味を正しく理解することができる。また、単文・重文・複文の構造を理解することができる。賛成・反対の意思を示す文や、聞き直す時の表現を理解することができる。 b: 疑問・命令・驚き・賛成・反対の意思を読み取ることができる。 c: 疑問文・命令文・感嘆文から相手の意思を読み取ろうとする態度がみられる。また、単文・重文・複文の構造を理解しようとする態度がみられる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 様々な疑問文や命令文、感嘆文を用いて、疑問や驚きなどを適切な発話で表すことができる。賛成・反対の意思を示すことができる。また、聞き直すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 様々な疑問文や命令文、感嘆文を用いた、正しい文章を書くことができる。5 つの文型や＜There +be 動詞+主語＞の構文の構造を理解することができる。自動詞と他動詞の違いが理解できる。 b: 疑問や驚きなどを適切な英文で表すことができる。また、単文、重文、複文を用いて、まとまりのある文を用いて表現することができる。5 つの文型や＜There +be 動詞+主語＞の構文を用いて文を組み立てることができる。注意すべき自動詞と他動詞を使い分けて書くことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 I’m planning a day trip this weekend. Lesson 4 Have you ever tried it before?	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: 基本時制の構造と概念を理解することができる。現在・過去・未来の完了形の概念を理解することができる。また、それぞれの時制で共に使える語句の違いを理解することができる。 b: 様々な時制で書かれた文の違いを正しく読み取ることができる。 c: 時制の概念を理解し、様々な時制で書かれた文の違いを正しく読み取ろうとする態度がみられる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 今後の計画や予定、今までの経験や初めての経験について、様々な時制を正しく用いて尋ねたり伝えたりできる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 現在・過去・未来の完了形の用法を区別し、正しく使い分けることができる。適切な時制を用いて表現することができる。 b: 今後の計画や予定、今までの経験や初めての経験について、様々な時制を正しく用いて尋ねたり伝えたりできる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	Lesson 5 What do you want to do after school?	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内テスト （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 6 Did you hear about the new shop?	読むこと	a: 様々な助動詞の意味、受動態の構造を理解することができる。 b: 様々な助動詞、受動態を含む文章の意味を読み取ることができる。 c: 様々な助動詞、受動態を含む文章の意味を読み取ろうとする態度が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 様々な助動詞、受動態用いて、自分の考えや感情、物事を正しく表すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意志や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 様々な助動詞の意味と用法を理解し、正しく用いることができる。受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて適切に使い分けることができる。 b: 様々な助動詞、受動態を用いて、自分の考えや感情、物事を正しく表すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 I'm happy to have you with us. Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way.	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a:不定詞や動名詞の様々な用法を理解することができる。多様な分詞の意味を理解することができる。 b: 様々な用法の動名詞を使用した文の意味を読み取ることができる。名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を含む文の意味を読み取ることができる。 c: 様々な用法の動名詞や、分詞を含む文の意味を読み取ろうとする態度が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。抑揚やアクセントを付けて話すことができる。学習した表現を正しく使うことができる。 b: 様々な用法の動名詞や、分詞を含む文を用いて、自分の考えや感情、物事を正しく表すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 様々な不定詞の用法理解し、詳細な情報を伝えることができる。動名詞の様々な用法を理解し、正しく用いることができる。名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、分詞構文や付帯状況を表す分詞を正しく用いることができる。 b: 様々な用法の不定詞や動名詞、分詞を含む文を用いて、自分の考えや感情、物事を正しく表すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3 学期	Lesson 10 That's why I decided to go back. Lesson11 Which do you	聞くこと	a: 会話の音声を聞いて、内容を聞き取ることができる。 b: 会話の音声を聞いて、話者の気持ちや重要な情報は何かを考えることができる。 c: 発話を聞き取り、内容を理解しようとする態度が見られる。	授業内テスト （リスニング）
		読むこと	a: 関係詞含む文の構造や意味を理解することができる。また、複合関係詞を用いた文の構造や意味を理解することができる。比較に関する様々な用法と意味を理解することができる。仮定法の構造や意味を理解することができる。 b: 関係詞を用いて語句を限定したり補足説明を加えたりしている文の意味を読み取ることができる。また、複合関係詞を用いた文の譲歩の意味を読み取ることができる。様々な用法の比較表現を含む文の意味を読み取ることができる。直接法と仮定法の違いを理解	定期考査 （リーディング）

※令和４年度以降入学生用

	prefer, cheaper beans or expensive ones? Lesson12 I think it's a good idea.		し、事実と違うことや実際には起こりえないこと表していることを読み取ることができる。 c: 関係詞、複合関係詞、比較表現、仮定法を含む文の意味を読み取ろうとする態度が見られる。	
		話すこと （やりとり）	a: 単語を正しく発音することができる。意味の区切りを意識して話すことができる。学習した文法や表現を正しく使うことができる。 b: 質問の趣旨を理解し、適切な返答ができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト （スピーキング）
		書くこと	a: 関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりすることができる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。仮定法を用いて，事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 b: 関係詞や比較、仮定法を用いて、自分の考えや感情、物事を正しく表すことができる。 c: 学習した表現や文法を用いて、自分の意思や考えを相手になんとか伝えようとする態度がみられる。	授業内テスト および定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度